



兼松株式会社

2024年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

(見通しに関する注意事項)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

- 前年同期比で増収増益
- 営業活動に係る利益は過去最高益
- 親会社所有者帰属四半期利益の通期見通しに対する進捗率は70%と堅調に推移

第3四半期実績

(単位：億円)	23/3月期 3Q実績	24/3月期 3Q実績	前年 同期比	増減率
収益	6,777	7,260	+483	+7%
営業活動に係る利益	296	331	+35	+12%
親会社所有者帰属四半期利益	155	166	+10	+7%
営業活動によるキャッシュ・フロー	△125	120	+245	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142	△76	+65	
	23/3月末	23/12月末	前期比	
ネットDER ¹⁾	1.15倍	1.22倍	+0.07倍	
自己資本比率 ²⁾	19.0%	20.5%	+1.5%	

1) ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本 (親会社の所有者に帰属する持分合計)
 2) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

通期見通し

(単位：億円)	24/3月期 通期見通し (修正後)	3Q 進捗率
収益	9,600	76%
営業活動に係る利益	425	78%
親会社所有者帰属当期利益	235	70%
ROE	17.2%	
一株当たりの年間配当金	90円	
連結配当性向	32.0%	

・ 営業活動に係る利益は、進捗を踏まえ405億円から425億円に上方修正
 ・ 親会社所有者帰属当期利益は、持分法投資に係る減損損失などに鑑み据え置き

2024年3月期 第3四半期実績

(単位：億円)	23/3月期 3Q実績	24/3月期 3Q実績	前年 同期比	増減率
収益	6,777	7,260	+483	+7%
売上総利益	929	1,036	+108	+12%
販売費及び一般管理費	△694	△776	△82	-
その他の収益・費用	62	71	+9	-
営業活動に係る利益	296	331	+35	+12%
利息収支	△24	△38	△14	-
受取配当金	9	12	+3	-
その他の金融収益・費用	3	△1	△5	-
金融収益・費用	△12	△27	△16	-
持分法による 投資損益・減損損失	△1	△25	△24	-
税引前四半期利益	284	279	△5	△2%
法人所得税費用	△89	△99	△10	-
四半期利益	195	180	△16	△8%
親会社所有者帰属 四半期利益	155	166	+10	+7%

■ 収益

- 電子・デバイスセグメントや鉄鋼・素材・プラントセグメントを中心に、前年同期比で483億円の増収

■ 営業活動に係る利益

- 第3四半期の過去最高益となる331億円

■ 税引前四半期利益

- 支払利息の増加や持分法投資に係る減損損失などにより5億円の減益

■ 親会社所有者帰属四半期利益

- セグメント別四半期利益の4ページ参照

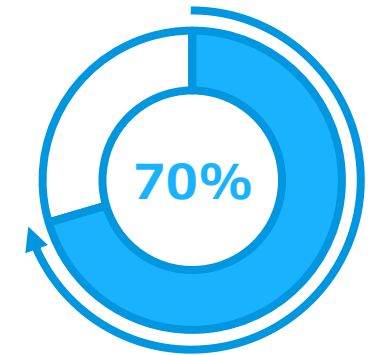
通期見通し

(単位：億円)	24/3月期 通期見通し (修正後)	進捗率
収益	9,600	76%
営業活動に係る利益	425	78%
税引前当期利益	360	78%
親会社所有者帰属当期利益	235	70%
連結配当性向	32.0%	

親会社所有者帰属四半期利益

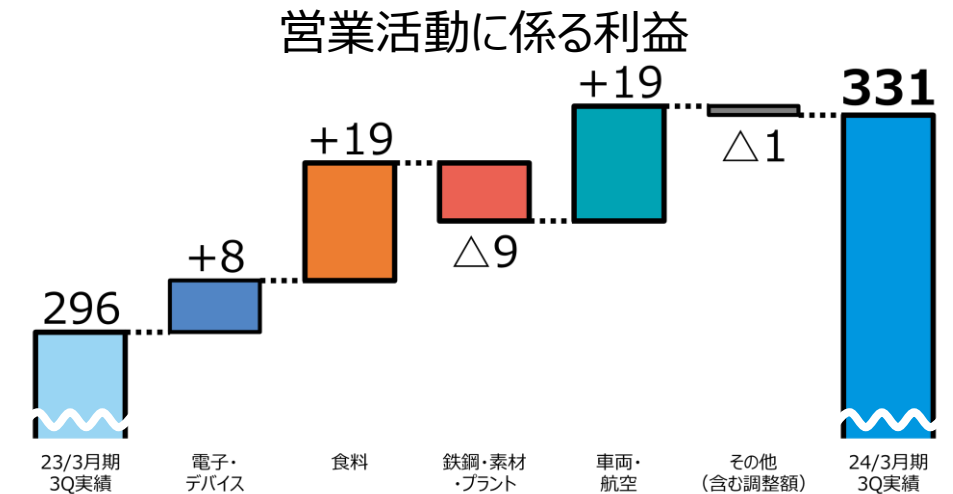
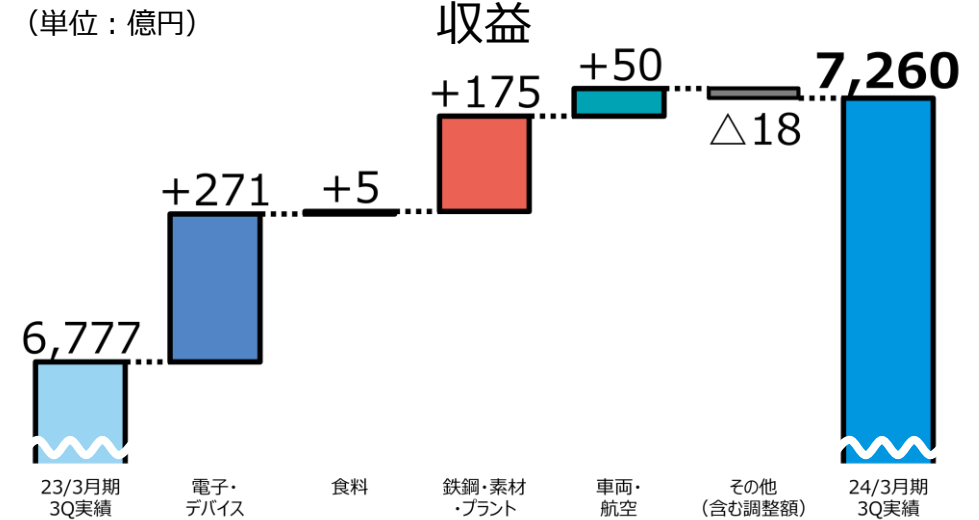
通期見通し 235億円

3Q進捗率



1) 見通しの前提条件：為替レート1米ドル=135円、円金利横ばい、外貨金利の上昇を見込む

(単位：億円)	23/3月期 3Q実績	24/3月期 3Q実績	前年 同期比	増減率	24/3月期 通期見通し (修正後)	進捗率
電子・デバイス						
収益	2,034	2,305	+271	+13%	2,900	79%
営業活動に係る利益	134	142	+8	+6%	215	66%
親会社所有者帰属四半期利益	56	90	+33	+59%	141	64%
食料						
収益	2,578	2,583	+5	+0%	3,650	71%
営業活動に係る利益	55	74	+19	+35%	73	101%
親会社所有者帰属四半期利益	36	36	△0	△0%	36	100%
鉄鋼・素材・プラント						
収益	1,425	1,600	+175	+12%	2,000	80%
営業活動に係る利益	92	83	△9	△10%	103	81%
親会社所有者帰属四半期利益	53	18	△35	△66%	34	53%
車両・航空						
収益	632	682	+50	+8%	900	76%
営業活動に係る利益	8	27	+19	+230%	26	102%
親会社所有者帰属四半期利益	6	15	+9	+136%	17	89%
その他（含む調整額）						
収益	109	91	△18	△16%	150	61%
営業活動に係る利益	7	6	△1	△19%	8	75%
親会社所有者帰属四半期利益	3	6	+3	+114%	7	92%
合計						
収益	6,777	7,260	+483	+7%	9,600	76%
営業活動に係る利益	296	331	+35	+12%	425	78%
親会社所有者帰属四半期利益	155	166	+10	+7%	235	70%

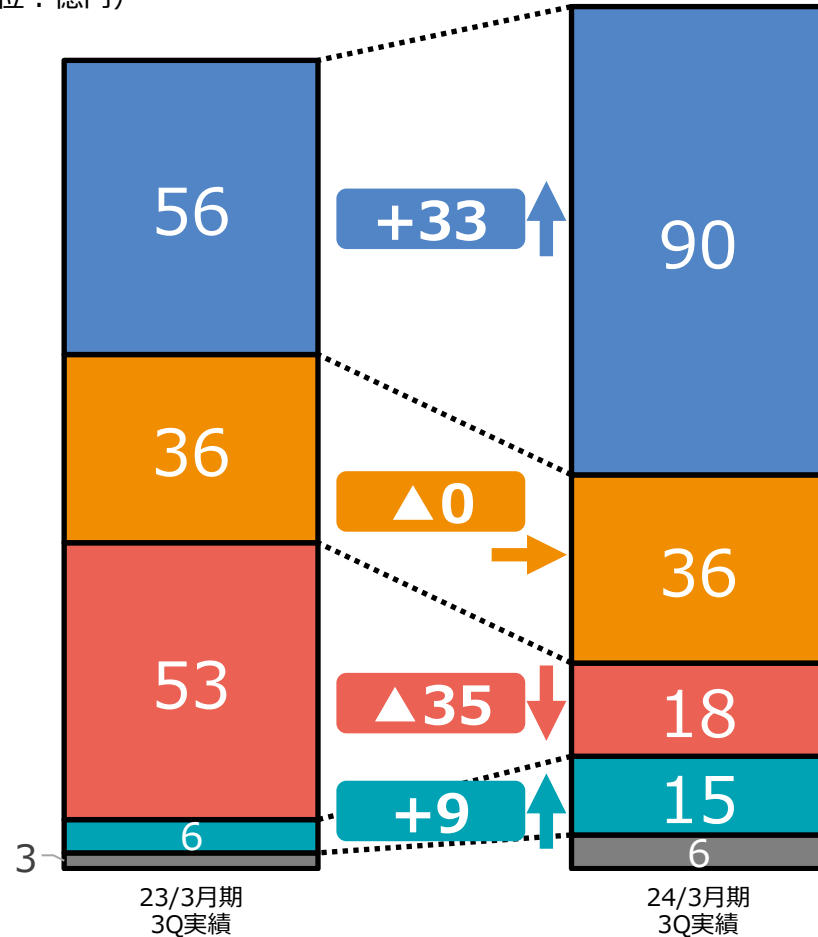


1) 見通しの前提条件：為替レート1米ドル=135円、円金利横ばい、外貨金利の上昇を見込む

親会社所有者帰属四半期利益

■ 電子・デバイス ■ 食料 ■ 鉄鋼・素材・プラント ■ 車両・航空 ■ その他（含む調整額）

（単位：億円）



電子・デバイス

33億円増益

- **ICTソリューション事業**：セキュリティ対策やDX需要の高まりを背景としたネットワークおよびセキュリティ関連の案件が堅調に推移したことに加え、兼松エレクトロニクス社の100%株式取得による効果もあり増益
- **モバイル事業**：引き続き店舗再編の効果などにより前年同期比で増益

食料

横ばい

- **食品事業**：好調な冷凍フルーツや飲料原料の販売、海外加工食品ビジネスなどにより、前年同期比で増益
- **畜産事業**：海外の相場高や円安などの影響を受けたものの、前年同期比で横ばいで推移
- **食糧事業**：主要穀物相場が軟調に推移し、好調に推移した前年同期比で減益

鉄鋼・素材・プラント

35億円減益

- **鉄鋼事業**：持分法投資に係る減損損失などにより前年同期比で減益
- **エネルギー事業**：国内の需要減の影響を受け、好調に推移した前年同期比で減益

車両・航空

9億円増益

- **航空宇宙事業**：航空・艦船関連取引が好調に推移し、前年同期比で増益
- **車両・車載部品事業**：市況改善などにより前年同期比で増益

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・ 棚卸資産を中心とした営業資金の増加があった一方で、営業収入の積上げなどにより、**120億円のキャッシュ・イン**

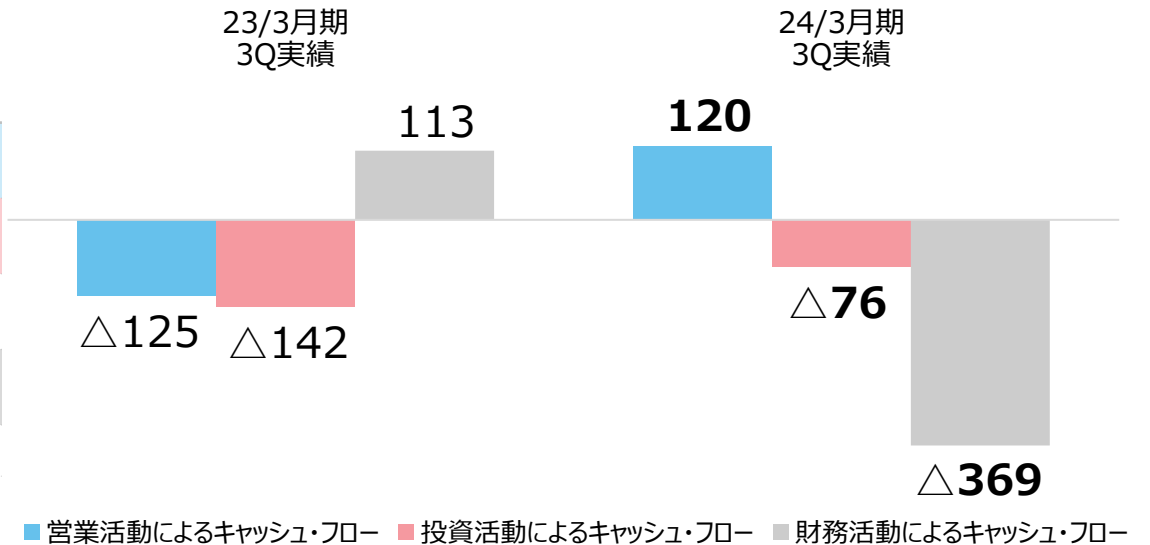
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・ 有形固定資産の売却などによるキャッシュ・インがあった一方で、新規事業投資の実行などにより、**76億円のキャッシュ・アウト**

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・ 兼松エレクトロニクス（株）の公開買付けに伴い借り入れた短期借入金の返済、およびその完全子会社化に伴う株式取得対価の支払いなどにより、**369億円のキャッシュ・アウト**

(単位：億円)	23/3月期 3Q実績	24/3月期 3Q実績	前年 同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△125	120	+245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142	△76	+65
フリーキャッシュ・フロー	△266	44	+310
財務活動によるキャッシュ・フロー	113	△369	△482
営業活動によるキャッシュ・フローから 運転資本の増減を控除した金額	271	270	△2



■ 総資産

- 商品市況の上昇、円安に伴う売掛債権や棚卸資産の増加などにより、**214億円の増加**

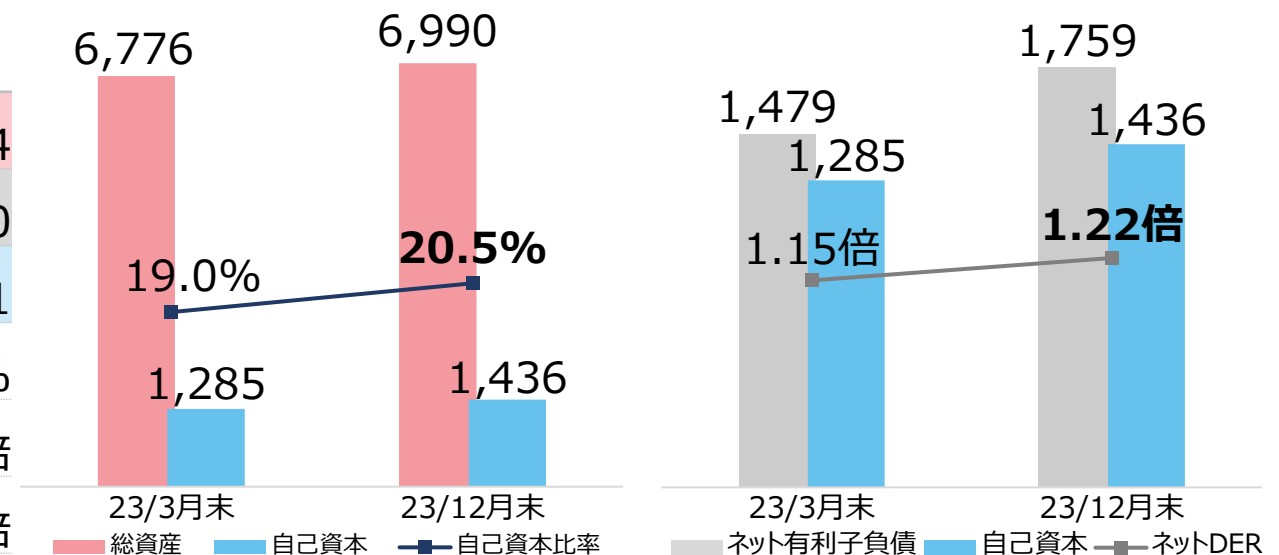
■ ネット有利子負債

- 公開買付け後の完全子会社化に伴う株式取得対価の支払いや、運転資金の増加などにより、**280億円の増加**

■ 自己資本

- 親会社の所有者に帰属する四半期利益の積上げおよび円安に伴うその他の資本構成要素の増加などにより、**151億円の増加**
- 自己資本比率は**20.5%**、ネットDERは**1.22倍**

(単位：億円)	23/3月末	23/12月末	増減
総資産	6,776	6,990	+214
ネット有利子負債	1,479	1,759	+280
自己資本 ¹⁾	1,285	1,436	+151
自己資本比率 ²⁾	19.0%	20.5%	+1.5%
ネットDER ³⁾	1.15倍	1.22倍	+0.07倍
PBR ⁴⁾	1.08倍	1.22倍	+0.14倍



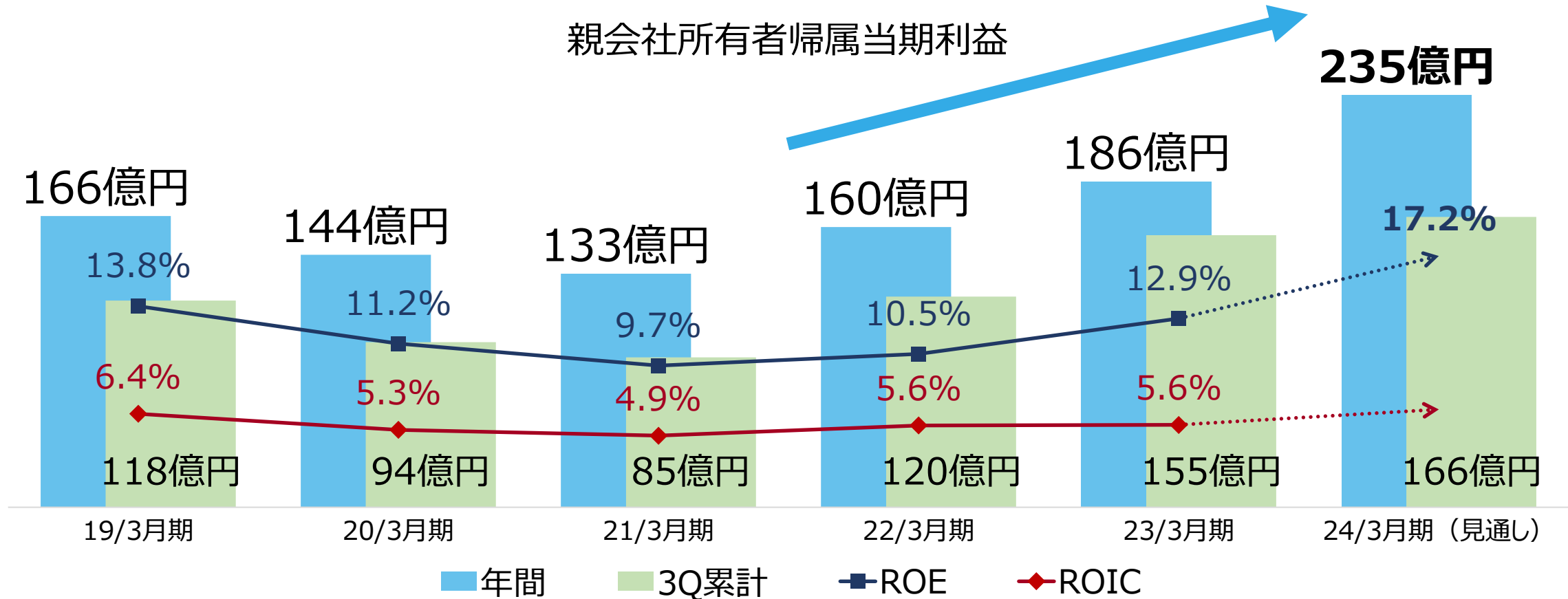
1) 自己資本は資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

2) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

3) ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本

4) PBR = 期末時点の時価総額 (期末株価 × 発行済み株式数) ÷ 自己資本

■ 中期経営計画「*future 135*」(2018年4月～2024年3月)の最終年度である当期の利益は、目標の200億円を超える見通し



1) 見通しの前提条件：為替レート1米ドル=135円、円金利横ばい、外貨金利の上昇を見込む

- 継続的かつ安定的な配当を実施するという基本方針
- 中期経営計画「future 135」の総還元性向目標は30~35%

